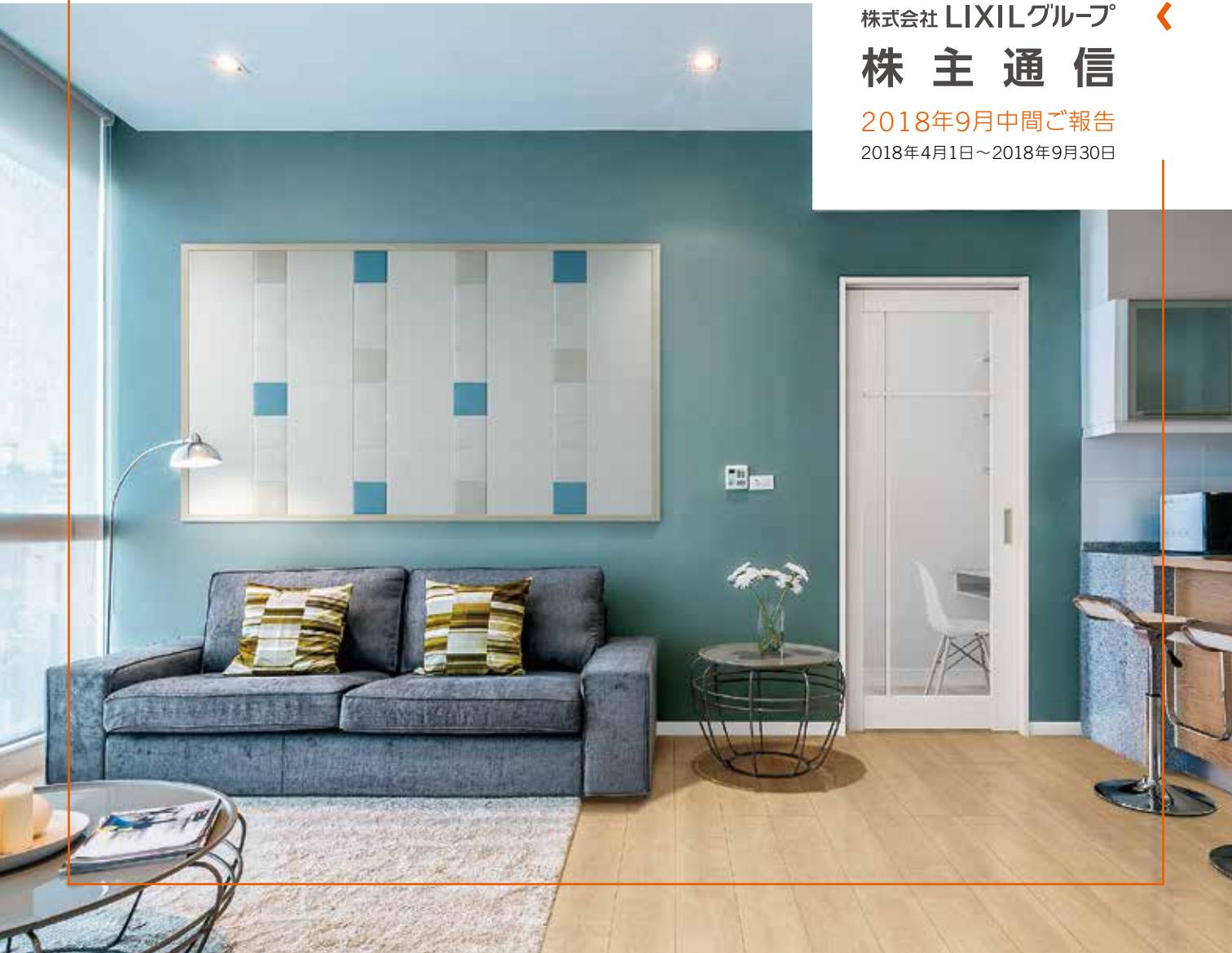


株式会社 LIXILグループ

株 主 通 信

2018年9月中間ご報告

2018年4月1日～2018年9月30日



Contents

ごあいさつ	02	株主さまアンケート結果	16
LIXILの新商品・サービス	05	株式の状況・株主メモ	17
LIXILのデザイン	08	会社概要	18
LIXILのサステナビリティ	09	株主優待のお知らせ・ お問い合わせ先	裏表紙
営業報告	11		
セグメント情報	12		

LINK TO GOOD LIVING



表紙：床・室内引き戸 ラシッサ (INTERIO) / P01左：洗面化粧台 ルミシス (INAX) 上段左より：門回り プラスG (EXSIOR)、窓 LW (TOSTEM)、バスルーム アライズ
下段左より：トイレ サティス (INAX)、キッチン アレスタ

ごあいさつ

新たな経営体制で 企業価値を 高めてまいります

取締役 取締役会議長 兼
代表執行役会長 兼 CEO

潮田 洋一郎



新しい経営体制

この度、11月1日付で新たな経営体制へ移行し、私が持株会社の代表執行役会長 兼 CEOに就任しました。また、2016年6月より独立社外取締役を務める山梨広一が、代表執行役 兼 COOに就任しました。瀬戸は、2019年3月末まで代表執行役社長として、新体制へのスムーズな移行をサポートし、その後、山梨が後任として2019年4月1日付で代表執行役社長に就任します。

今回の交代は、個々の経営課題に対する見解が大きく異なっていたからではありません。グループの各事業経営の路線には、大きな変更はありません。では、何故交代したのかというと、純粹持株会社の事業会社からの独立性を高めるためでした。

藤森を招くことに先立つ5年間は、私が持株会社CEOをつとめる事で、長期不況下に成長機会を見出せなかったそれ以前の体制を刷新し、グループ

ごあいさつ

を新たな成長軌道に乗せました。サンウエーブや新日軽、アメリカンスタンダード アジア・パシフィックやペルマスティリーザの加入で業容は横に広がり、また多国籍化の基礎ができました。その当時は、純粋持株会社トップは事業会社と兼任せず別のチームで事業経営がなされ、持株会社が事業会社のガバナンスを担うと同時に、長期的視点に立ってポートフォリオを拡充していました。

しかし、2011年以降は持株会社と事業会社の経営が同一チームとなり、ガバナンスは執行組織を持たない取締役会が単独で担う体制に変わりました。経営者が同一となる事で、持株会社と事業会社の緊張関係が消滅しました。監督が粗くなったり、将来のための布石事業を手放すなど、戦略に短期的な視点の色濃くなった事は否めません。

そこで、やはり持株会社の経営と事

業会社経営は独立すべきとの結論に達しました。純粋持株会社にはアジアや欧米の優れた人材を経営陣やアドバイザーとしてさらに多く任用し、意思決定を補強していく必要があります。また、人材が育ってきており、事業部にもっと多くの権限を与えて意思決定のスピードを高めます。これは、持株会社によるガバナンスのグリップが強まる事で可能になります。

ガバナンスの他に、持株会社は長期を見据えてファイナンスを考えながらポートフォリオを形成していく。そして企業価値を高める事に専念します。負債レベルに注意しながらも、再びM&Aを加速させて、新興国の成長に乗り遅れない経営を目指します。

国内ではシェアを落としている製品もあります。製造業は売上が大きいほど単位当たりの製造固定費は低下し、利益率が上がります。利益を伸ばす最大のドライバーは売上であり、マーケットシェアです。先々、人口減少下で住宅着工や需要が減るから、製品ラインや作り方を抜本的に変えるという主張は的を射ています。しかし、今日の売上拡大はそれ以上に必要なことで、両者は同時に達成が可能です。失われたシェアは早急に取り返すべきだと考えています。

株主の皆さまへ

こここのところの株価の低迷につきまして、株主の皆さまに深くお詫び申し上げます。

今後は新体制で、企業価値の向上を図ってまいります。株主の皆さまには、引き続きご支援のほど、お願い申し上げます。



山梨広一プロフィール

1978年 富士写真フイルム(株)
(現 富士フイルムホールディングス(株))入社
1990年 マッキンゼー・アンド・カンパニー入社
1995年 同社プリンシパル(パートナー)
2003年 同社ディレクター(シニア・パートナー)
2014年 イオン(株)専務執行役員務統括担当
2016年 当社取締役兼報酬委員会委員長兼指名委員会委員
2017年 当社取締役兼指名委員会委員長兼報酬委員会委員
2018年 当社取締役 代表執行役 兼 COO (兼)
(株)LIXIL代表取締役会長 兼 CEO 兼 取締役会議長

11月1日に取締役 代表執行役 兼 COO に就任した山梨広一です。私は2016年6月から、LIXILグループの社外取締役を務めてきており、「優れた製品とサービスを通じて、世界中の人びとの豊かで快適な住生活の未来に貢献する」というLIXILグループの企業理念と、それを反映した数々の事業に大きな魅力を感じています。この素晴らしいグループの業務執行を統括することに、身が引き締まる思いがするとともに、大きな誇りを感じています。

私は2つの役目にフォーカスしてまいります。1つ目は、グループの更なる発展のために、各事業会社が自立した形で成長を加速させ、持株会社が経営資源の最適活用と、グループの

中のガバナンスを通じて企業価値を増大させていくことです。2つ目は、さらにその先のフェーズに向けて、グループ全体の新しい成長ビジョンを描いていくことです。

これらに加えて、第2四半期決算が示すように、LIXILハウジングテクノロジーの国内事業改善をはじめとして、早急に解決しなければならない種々の課題に迅速に対応していきます。

当社グループの企業価値向上に全力を尽くしてまいりますので、株主の皆さまには、温かいご支援のほど、宜しくお願い申し上げます。

取締役 代表執行役 兼 COO

山梨 広一

第2四半期累計(上期)の実績および通期の業績予想[国際会計基準]

(単位:億円)

	第2四半期(上期)実績					通期実績・予想		
	18年3月期 上期実績*1	19年上期実績				18年3月期 実績*1	19年3月期	
		当初予想*2	実績	前年同期比	予想比		修正後予想*3	前期比
売上収益	8,904	8,370	8,882	△0.2%	6.1%	18,293	18,450	0.9%
事業利益	407	450	138	△66.1%	△69.4%	760	450	△40.8%
当期利益*4	128	280	△86	—	—	546	15	△97.3%

※1 昨年8月のペルマスティリーザ社の売却決定に伴い、2018年3月期第2四半期(上期)決算以降は、同社の事業を非継続事業に分類して表示しました。しかし2019年3月期第2四半期から変更して、同社事業を継続事業として扱うこととなり、これに伴い前年の実績も同様に組み替えたため、前年同期・通期実績の売上収益・事業利益は、以前に発表した数字から変更しています。(P12注をご参照)

※2 2018年5月7日発表

※3 2018年10月22日発表

※4 親会社の所有者に帰属する四半期利益(上期) 同 当期利益(通期)

なお、業績不振の結果を受けて、役員からの申し出をもとに、当社執行役・取締役および(株)LIXIL取締役の報酬を、2018年11月から当面の間、減額します。(役位に応じて、基本報酬月額から最大20%の減額)



枠にはまらない開放感

TOSTEM LW

➤ LIXILのさまざまな商品とサービスで豊かな暮らしを提供します

リビングに、外とつながる心地よさを。

新発想の窓“TOSTEM「LW」”

TOSTEMブランドの「LW」は、上下左右のフレームが室内から見えない“フレームインデザイン”とし、1枚のガラス戸を横にスライドさせ開閉する新発想の窓です。一般的な窓と異なり、開けた状態でも閉めた状態でも、窓からの景色を遮るものが全くないノイズレスの構造で、いつでも外と内がつながる心地よいリビング空間を創りだすことが可能です。また、アルミと樹脂のハイブリッド構造を採用することで、圧倒的な眺望性と高い断熱性能の両立を実現しています。

自分らしい空間をコーディネート。

インテリア事業の新ブランド“INTERIO”誕生

変わるって、楽しい。 えらぶって、自由だ。



新インテリア建材「ラフィス」

天井と繋がる「ハイドア」ならではの開放感や、細部にまでこだわったノイズレスデザインが、シンプルで上質な空間を演出します。

- 1 「ハイドア」ならではの開放感**
閉めた時は壁面と一体感があり、開けたときは極上の開放感を生み出します。垂れ壁がない「ハイドア」ならではの開放感です。
- 2 ノイズレスな美しさ**
徹底的にムダを削ぎ落としたデザインで、すっきりとした美しい空間を演出します。まるでそこに存在しないかのようなノイズレスな美しさです。
- 3 上質な素材感・カラー**
上質な素材感は、インテリアを彩る大切なアクセント。洗練された空間により豊かな表情を与えます。



Interio
Raffis

毎日快適に暮らしながら、環境保護に貢献

国内初の新サービス「建て得バリュー」

「建て得バリュー」は、実質負担ゼロで太陽光発電システムを設置できて、毎月の電気代もお得になる、国内初のサービスです。指定のLIXIL商品をご採用いただいたネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）仕様の家を購入されるお客さまを対象に、(株)LIXIL TEPCO スマートパートナーズ*が太陽光発電システムを割賦販売し、同社がお客さまの余剰売電収入を得る代わりに毎月の割賦支払に充てることで、ZEH購入時の太陽光発電システム導入に係る負担を実質なくします。

* (株)LIXILと東京電力エナジーパートナー(株)の合併会社

サービス概要

オール電化対応

建て得バリュー

建て得バリューE

1 実質ゼロで太陽光発電システムを設置

LIXIL TEPCO スマートパートナーズが余剰売電収入を得る代わりに、お客さまの太陽光発電システムの割賦支払い負担を実質ゼロにします。

*ご契約期間は10年です。満期までに解約される場合には清算金が発生します。

2 毎月の電気代がググッと安く

断熱性や省エネなど環境性能が高い建材・設備の使用で、消費電力の削減はもちろん、同社が安く電力を提供し、月々の光熱費を大幅に削減。

3 LIXIL商品の採用数に応じて各種プランをご用意(建て得バリュー)

LIXILのサッシ・ドア・太陽光発電システムの3点セットをベースに、ご採用いただく商品が増えるほど電気料金がお得になります。

建て得でんき

太陽光発電システムを含むZEHまたはそれに準ずるNearly ZEHを工務店さまから購入された方を対象*に、お得な電気料金プランをお届け。

*電気契約のみをLIXIL TEPCO スマートパートナーズと結んでいただきます。

建て得

バリュー バリューE でんき

お得①



お得②



サービスの詳細はウェブサイトでご紹介しています

<https://www.lixiltepcos-sp.co.jp/nattoku/index.html>

LIXILは機能性と美しさを追求しています

LIXILグループから合計11商品

「2018年度グッドデザイン賞」を受賞

公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2018年度グッドデザイン賞」においてグループの11商品が受賞し、その中でもAmerican Standardのハンドシャワー「Genie」(写真上段)が、「グッドデザイン・ベスト100」に選出されました。この商品は、アジアの水圧が低い地域向けに開発され、低価格ながら高い次元で機能と意匠が合致している点が評価されました。その他に、INAXブランドのタイル「アレルピュア」(写真 中段右)、浄水器内蔵シングルレバー混合水栓「オールインワン浄水栓 AJタイプ」(写真 中段左)、P05の「LW」等、住まい手のニーズに応える機能と優れたデザインを両立した計10商品が受賞しました。LIXILグループは商品のライフサイクル全体にデザイン思考を取り入れて、お客さまの課題を解決することに取り組んでいます。



業界初のIoT宅配ポスト「スマート宅配ポスト」

受賞商品の1つ、「スマート宅配ポスト」は、好きなときに荷物を受け取れ、ストレスなく発送し、ユーザーに“時間的価値”を提供するIoT宅配ポストです。IoT化によりユーザーと宅配業者をつなぎ、複数個の荷物受取や集荷対応を可能にします。IoTボックスの活用により、ユーザーの利便性を高めるとともに、配達の効率化にも寄与します。ポスト・宅配ボックスの機能を一体化し、住宅と調和する外観デザインで“空間的価値”も追求しました。





グローバルな衛生問題の解決に向けて



ユニセフとグローバル・パートナーシップ

「Make a Splash! みんなにトイレを」を締結

ユニセフとLIXILは、世界の子どもたちの衛生環境の改善に向けて、新しいアプローチで取り組む、革新的なグローバルパートナーシップを締結しました。このパートナーシップは、ユニセフの「水と衛生の分野」において世界初の「シェアードバリュー・パートナーシップ」であり、日本企業としても初めての締結となります。

「Make a Splash! みんなにトイレを」と名付けられたこのパートナーシップは、ユニセフとLIXILがそれぞれの強みを活かしながら、持続可能な開発目標 (SDGs) ターゲット6.2「2030年までに、すべての人びとの、適切かつ平等な下水施設・衛生施設へのアクセスを達成し、野外での排泄をなくす。女性および女児、ならびに脆弱な立場にある人びとのニーズに特に注意を払う」の実現を目指すものです。

「SATO」が「イノベーション・オブ・ザ・イヤー賞」を受賞

「SATO」は英国エシカルコーポレーションが主催するレスポンシブル・ビジネス・アワードで、「イノベーション・オブ・ザ・イヤー賞」を受賞しました。レスポンシブル・ビジネス・アワードは、持続可能なビジネスの分野で主導的役割を果たす企業に贈られる国際的に権威ある賞で、サステナビリティの先進企業が受賞しています。LIXILが展開する「SATO」ブランドの製品が、世界の衛生課題の解決に向けて多くの人びとの生活の向上に貢献してきた実績が認められ、今回の受賞につながりました。



SATO
Smart, fresh toilets

世界の衛生環境を改善しよう！
みんなにトイレをプロジェクト

「みんなにトイレをプロジェクト」活動ご報告

LIXILは、一体型シャワートイレ1台の購入につき、簡易式トイレシステム「SATO」1台をアジア、アフリカの学校を中心に寄付することで衛生環境の改善につなげる「みんなにトイレをプロジェクト」を2018年4月から9月まで実施し、累積寄付予定台数は203,454台になりました。本プロジェクトは、LIXILと国連機関や国際NGOが連携し、アジアやアフリカの学校を中心に、虫による病原菌の媒介、および悪臭を低減する簡易式トイレシステム「SATO」を提供することで、トイレを使うことによるメリットを伝え、適切な衛生習慣を普及させることを目指しています。



SATOの寄付台数

203,454台

(実施期間：2018年4月～9月)

主な経営指数の推移(連結、国際会計基準)

	当第2四半期 累計期間 自2018年4月 1日 至2018年9月30日	前第2四半期 累計期間 自2017年4月 1日 至2017年9月30日	前期 自2017年4月 1日 至2018年3月31日
売上収益(億円)	8,882	8,904	18,293
事業利益*(億円)	138	407	760
営業利益(億円)	147	151	591
親会社の所有者に帰属する四半期(当期)利益又は損失(億円)	△86	128	546
資本合計(億円)	6,388	6,270	6,496
資産合計(億円)	20,947	21,037	21,071
営業活動によるキャッシュ・フロー(億円)	114	405	1,164
投資活動によるキャッシュ・フロー(億円)	△323	△381	△526
財務活動によるキャッシュ・フロー(億円)	16	13	△438
現金及び現金同等物の四半期(当期)末残高(億円)	1,235	1,227	1,388
親会社所有者帰属持分比率(%)	28.9	28.0	29.3
親会社所有者帰属持分当期利益率[ROE](%)	—	—	9.4
基本的1株当たり四半期(当期)利益又は損失[EPS](円)	△29.76	44.59	189.13
1株当たり親会社所有者帰属持分[BPS](円)	2,085.95	2,040.19	2,128.77
1株当たり四半期(年間)配当金(円)	35	30	65

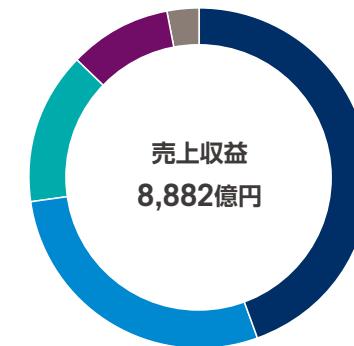
*日本会計基準における「営業利益」と同等、事業利益=売上収益-売上原価-販管費



セグメント別の営業状況

	当第2四半期 累計期間(上期) (億円)	前第2四半期 累計期間 (億円)	前年 同期比 (%)
売上収益	8,882	8,904	△0.2
ウォーターテクノロジー事業	4,020	3,963	1.4
ハウジングテクノロジー事業	2,570	2,652	△3.1
ビルディングテクノロジー事業	1,303	1,318	△1.2
流通・小売り事業	878	875	0.4
住宅・サービス事業等	262	239	9.5
(調整額)	△151	△144	—
事業利益	138	407	△66.1
ウォーターテクノロジー事業	256	351	△27.2
ハウジングテクノロジー事業	46	170	△72.9
ビルディングテクノロジー事業	△37	21	—
流通・小売り事業	47	46	3.1
住宅・サービス事業等	14	11	29.6
(調整額)	△188	△192	—

売上収益内訳(当上期)



ウォーターテクノロジー事業	44.5%
ハウジングテクノロジー事業	28.5%
ビルディングテクノロジー事業	14.4%
流通・小売り事業	9.7%
住宅・サービス事業等	2.9%

(注)
当社は2017年8月に連結子会社ペルマスティリーザ社売却の意思決定をしたことにより同社の事業を非継続事業に分類していました。しかしながら、2018年10月に対米投資委員会より、当該売却を承認できない旨の通知を受け取りました。これにより、同社の事業を継続事業に戻し表示を変更しています。前期・前第2四半期の連結およびビルディングテクノロジーの売上収益・事業利益、連結の営業利益は公表済みの数字を遡及修正しています。また、当期より、キッチンテクノロジーをウォーターテクノロジーに含めてセグメントを5区分としています。

セグメント情報

ウォーターテクノロジー事業



国内



海外

INAX LIXIL RICHELLE SPAGE Jaxson



浴室「スパージュ」(写真)やキッチン「リシェル」等、中高級価格帯の商品が売上を伸ばしましたが、新設着工戸数の落ち込み、および今年度上半期の度重なる天候不順や地震等の自然災害等によるリフォーム工事の進捗遅延などが影響し売上成長は限定的なものとなりました。また、物流費および原材料価格の高騰により事業利益が落ち込みました。結果、前年同期比で、売上収益は0.1%の増収、事業利益は38.6%の減益となりました。

アジア太平洋地域においてはショールーム等の投資拡大で著しい売上成長でした。米国は住宅市場が底堅く売上成長は堅調でした。欧州は東欧で大きな成長を実現した一方で中欧での成長は限定的でした。事業利益ではマーケティング投資の増加や原材料価格高騰の影響を受けました。結果、前年同期比で、売上収益は2.9%の増収、事業利益は16.6%の減益となりました。(写真：シンガポールのグローエSPAショールーム)

売上収益・事業利益の推移

(単位：億円)

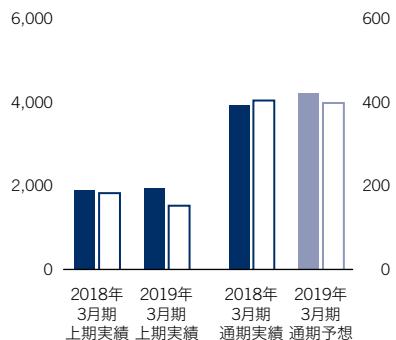
■ 売上収益(左軸)
□ 事業利益(右軸)



売上収益・事業利益の推移

(単位：億円)

■ 売上収益(左軸)
□ 事業利益(右軸)



ハウジングテクノロジー事業



TOSTEM LIXIL Interio exsior

SUPER WALL KAWASHIMA SELKON AT ASAHITOSTEM

リビング建材や産業品といった一部の事業において売上成長しました。一方で国内の新設着工戸数の落ち込み、および今年度上半期の度重なる天候不順や地震等の自然災害等によるリフォーム工事の進捗遅延などが影響し減収となりました。事業利益では物流費および原材料価格の高騰が減益要因となりました。結果、前年同期比で、売上収益は3.1%の減収、事業利益は72.9%の減益となりました。(写真：LW)

売上収益・事業利益の推移

(単位：億円)

■ 売上収益(左軸)
□ 事業利益(右軸)



ビルディングテクノロジー事業



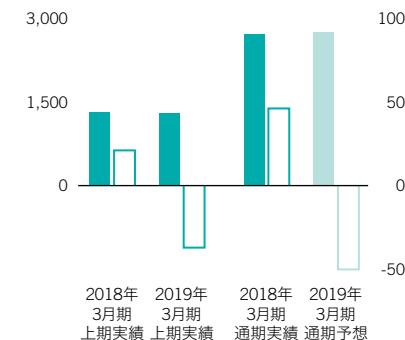
LIXIL PERMASTEELISA GROUP

国内事業ではオリンピック関連の需要等により売上成長しました。一方、新商品開発投資および原材料価格高騰の影響を受け減益となりました。海外事業では採算性を重視した選別受注により減収となりました。事業利益では予想を上回る原材料価格の高騰や米国での物価上昇等の影響を受け減益となりました。結果、前年同期比で、売上収益は1.2%の減収、事業利益は赤字となりました。(写真：E-SHAPE Window TYPE-S)

売上収益・事業利益の推移

(単位：億円)

■ 売上収益(左軸)
□ 事業利益(右軸)



セグメント情報

流通・小売り事業

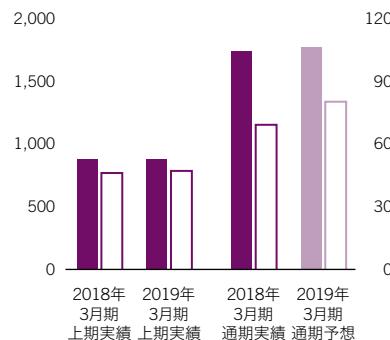


売上収益は0.4%増収とほぼ横ばいながら、既存店の売上総利益率の改善や販管費の節減により、事業利益は3.1%の増益となりました。新店として、4月には30代～40代女性を中心にファミリー顧客をターゲットにしたホームデコレーション専門店「ハウスデコ」2号店の甲子園店(兵庫県)、5月にビバホーム田無芝久保店(東京)、7月に九州初出店となるスーパービバホーム佐賀店(写真)の3店をオープンし、9月末の店舗数は92店となりました。

売上収益・事業利益の推移

(単位：億円)

■ 売上収益(左軸)
□ 事業利益(右軸)



住宅・サービス事業等

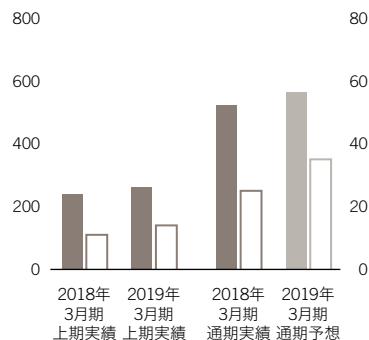


宅建法改正による既存住宅検査事業等の非新築事業の成長から、売上収益は9.5%の増収、事業利益は29.6%増益となりました。(株)LIXIL住宅研究所がモデルハウスを公開したコンセプトホーム『～人生100歳時代の未来住宅～五世代』(写真)は、2025年の生活を見据え、人生100歳時代に五世代4世帯の家族がお互いを見守り助け合って、ともに元気に暮らせることを提案しており、2018年度グッドデザイン賞を受賞しました。

売上収益・事業利益の推移

(単位：億円)

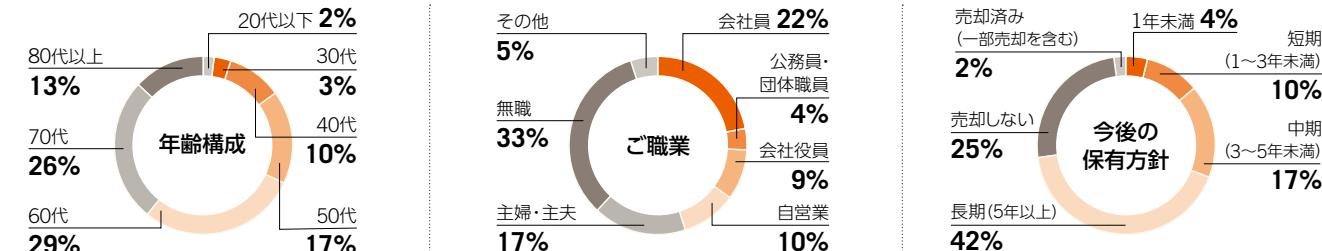
■ 売上収益(左軸)
□ 事業利益(右軸)



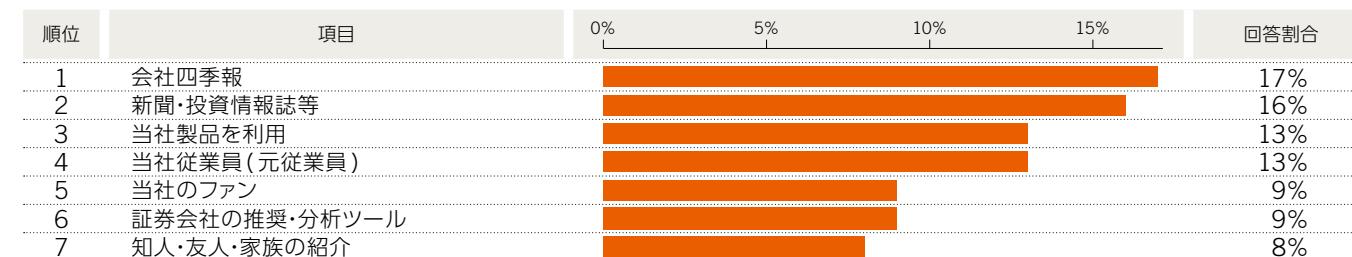
株主さまアンケート結果

6月に実施した株主さまアンケートでは、返信数12,442通、回答率28.1%と非常に多くの株主さまからご回答と貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。ご回答の集計結果の一部をご報告します。

1 ご回答者について



2 当社株式を取得されたきっかけは何でしょうか(お一人2つまで回答、上位7位)



3 株主さまからのご提案にお答えします

Q. リフォームを頼む際にいろんな場所があるが、エンドユーザーは知らない人が多いので紹介してほしい。

A. LIXILのホームページではリフォーム工事店などリフォーム情報を紹介しています。(https://www.lixil.co.jp/reform/) また、全国のLIXILのショールームでご相談を承っています。(https://www.lixil.co.jp/showroom/) 短時間リフォームをご検討の際は「リクシルPATTOリフォーム」0120-810-864(受付時間 9時～18時/年末年始・夏季休業日を除く)にお電話いただくと、お近くのサービスショップをご紹介します。まずはお気軽にご相談ください。

4 当社へのご意見、ご要望

今回も多くの励ましのお言葉や、製品・ホームセンター店舗のご愛用の声をいただき、誠にありがとうございます。今回は特に当社の株主へのご意見をたくさん頂戴しました。当社としては、18年3月期末から配当を増配したことに加えて、当社の業績をわかりやすく投資家の皆さまへ伝えること、そして業績改善および企業価値向上により一層取り組んでまいります。他に「みんなにトイレをプロジェクト」等のグローバルな衛生課題の解決への取り組みに高い評価をいただきました。

株式の状況(2018年9月30日現在)

株式数および株主数

発行可能株式総数	1,300,000,000 株
発行済株式の総数(自己株式23,227,817株を除く)	290,091,342 株
株主の総数	50,968 名

大株主

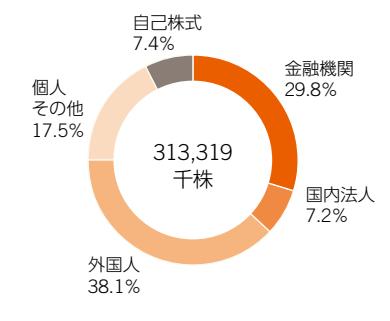
株主名	持株数(千株)	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)信託口	14,351*	4.95%
日本マスタートラスト信託銀行(株)信託口	13,792*	4.75%
STATE STREET BANK CLIENT OMNIBUS OM04 (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	10,771	3.71%
野村信託銀行(株)信託口	8,896*	3.07%
JPMC OPPENHEIMER JASDEC LENDING ACCOUNT (常任代理人(株)三菱UFJ銀行)	7,853	2.71%
LIXIL従業員持株会	6,673	2.30%
第一生命保険(株)(常任代理人 資産管理サービス信託銀行(株))	6,561	2.26%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)信託口5 (株)三井住友銀行	5,685*	1.96%
GOVERNMENT OF NORWAY (常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店)	5,027	1.73%

(注) 1. 上記の他に当社は自己株式23,227千株を所有しています。持株比率は、自己株式を控除して計算しています。
2. ※はすべて信託業務に係るものです。
3. 野村信託銀行(株)信託口8,896千株は潮田洋一郎氏が委託した信託財産であり、信託契約上、議決権の行使については同氏が指図権を留保しています。

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月中
株主確定日	定時株主総会議決権行使株主・期末配当金受領株主 3月31日、 中間配当金受領株主 9月30日
公告の方法	上記のほか必要ある場合は予め公告して基準日を設定。 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載URL:http://www.lixil.com/jp/investor/electronic_public/
株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
1単元の株式の数	100株
上場取引所	東京証券取引所・名古屋証券取引所

所有者別分布状況



金融機関	93,414千株
国内法人	22,416千株
外国人	119,359千株
個人その他	54,900千株
自己株式	23,227千株
合計	313,319千株

お知らせ

- 株主さまの住所変更、買取請求、買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行、電話0120-232-711(通話料無料))にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 配当金の口座振込をご指定の株主さまと同様に、「配当金領収証」により配当金をお受け取りになられる株主さま宛にも「配当金計算書」を送付いたしております。「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づき作成する「支払通知書」を兼ねております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。なお、配当金を証券口座でお受け取り(株式数比例配分方式)の株主さまは、お取引のある証券会社でご確認ください。

会社概要

会社概要

(2018年9月30日現在)

社名	株式会社 LIXILグループ
英文社名	LIXIL Group Corporation
設立年月日	1949年(昭和24年)9月19日
本店	〒136-8535 東京都江東区大島二丁目1番1号
本社事業所	〒100-6036 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号 霞が関ビルディング36階
資本金	68,418百万円
決算期	3月31日
従業員数	43名(連結従業員数 62,555名)
主な事業内容	国内外の住生活関連事業・都市環境関連事業を営む会社の株式または持分を取得、所有することによる当該会社の事業活動の支配、管理を行っております。

執行役

(2018年11月1日現在)

代表執行役会長兼CEO	潮田 洋一郎
代表執行役兼COO	山梨 広一
代表執行役社長	瀬戸 欣哉
代表執行役副社長	松本 佐千夫
執行役副社長	大坪 一彦
執行役専務	ファ・ヅン・ソン・モンテサーノ
執行役専務	松村 はるみ
執行役専務	二瓶 亮
執行役専務	金澤 祐悟
執行役専務	中村 豊

委員会構成

(2018年11月1日現在)

<指名委員会>	委員長	パーバラ・ジャッジ
	委員	吉村 博人
	委員	幸田 真音
	委員	川口 勉
<監査委員会>	委員	菊地 義信
	委員長	川口 勉
	委員	吉村 博人
<報酬委員会>	委員	白井 春雄
	委員長	幸田 真音
	委員	パーバラ・ジャッジ
	委員	菊地 義信

免責事項 この株主通信には、(株)LIXILグループの将来についての計画と予測の記述が含まれています。これらの計画と予測は、リスクや不確定要素を含んだものであり、実際の業績はさまざまな重要な要素により当社の計画と大きく異なる結果となる可能性があります。

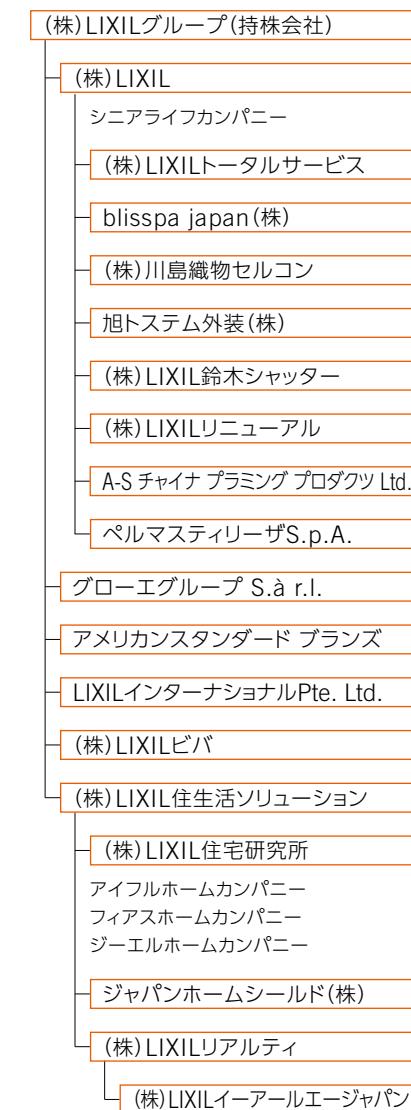
取締役

(2018年11月1日現在)

取締役	潮田 洋一郎
取締役	山梨 広一
取締役	瀬戸 欣哉
取締役	金森 良純
取締役	菊地 義信
取締役	伊奈 啓一郎
取締役	白井 春雄
取締役	川本 隆一
社外取締役	川口 勉
社外取締役	幸田 真音
社外取締役	パーバラ・ジャッジ
社外取締役	吉村 博人

主なグループ会社

(2018年9月30日現在)



株主優待のお知らせ

1 リフォーム株主優待

「リフォーム株主優待申込書」を贈呈。株主優待対象商品を使ったリフォーム工事を行った上でお申込みくださった方へ、約2ヵ月後に商品券(JCBギフトカード)をお送りします。

2 生活サービス株主優待

ハウスクリーニング・衣類クリーニング・布団クリーニングに使える割引券を贈呈。お申込み方法が一部変更となりましたので、ご確認ください。

2018年9月30日現在の当社の株主名簿に記載または記録されている100株(1単元)以上を保有されている株主さまへ、「株主優待制度ご利用ガイド2018-19」と「リフォーム株主優待申込書」を本誌に同封しています。皆さまのご利用をお待ちしています。

※「リフォーム株主優待申込書」等の株主優待関連書類の再発行はいたしておりません。ご了承ください。

詳細は同封の「株主優待制度ご利用ガイド2018-19」をご覧ください。



リフォーム株主優待申込書(A3サイズ 裏面は封筒面となっています。)



お問い合わせ先

株式についてのお問い合わせ

三菱UFJ信託銀行：証券代行部 0120-232-711 (P17「株主メモ」ご参照)
LIXILグループ：03-3638-9300

本誌の内容についてのお問い合わせ

LIXILグループ：IR室 03-6268-8806

株式会社LIXILの商品に関するお問い合わせ

お客さま相談センターのフリーダイヤルで承ります。商品により電話番号が異なりますのでご注意ください。
受付時間 平日 9:00~18:00、土日祝日 9:00~17:00(ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く)

- トイレ、化粧台、浴室商品、タイル商品 ☎0120-179-400
- キッチン商品 ☎0120-190-521
- サッシ、ドア、エクステリア ☎0120-126-001

株式会社 LIXILグループ

本店：東京都江東区大島二丁目1番1号
本社事業所：東京都千代田区霞が関三丁目2番5号 霞が関ビルディング36階
ホームページ：<https://www.lixil.com/jp/>